

塩見岳山行記

南アルプスの日本百名山で唯一未踏だった山

2019年8月12日～13日

L: 谷 晃

台風10号接近による影響を受ける前に全部で10座ある南アルプスの日本百名山で唯一未踏だった塩見岳に登頂した。

塩見岳は鉄兜に例えられるどっしりした3,000m峰だ。前泊した三伏峠小屋（日本で最も標高の高い峠）では夕陽に染まる塩見岳の大きい山容を望んだ。



三伏峠から望む夕映えの塩見岳

翌日の天候は本谷山あたりまでは展望も得られて良かったが、徐々にガスが出始めて塩見小屋辺りからは強風と霧雨になってしまった。塩見岳山頂直下の急な岩場もこの雨で滑りやすくなっており、滑落しないように緊張しての頂上アタックとなった。

現にこの塩見小屋まで来て、危険だからと撤退するグループもいたぐらいだ。山頂まであと20分くらいの岩場ですれ違った下山者からこの先で丁度5分くらい前に大きな落石があったと聞いてこれはヤバいと思ったが、兎に角、三点支持を確保しながら雨に濡れた岩場から滑らないように慎重に頂上を目指した。

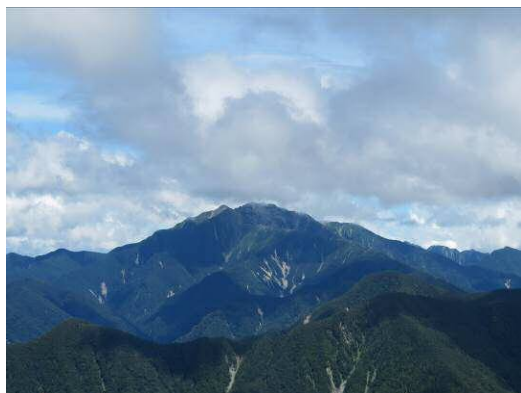


塩見岳西峰山頂 (3,047m)

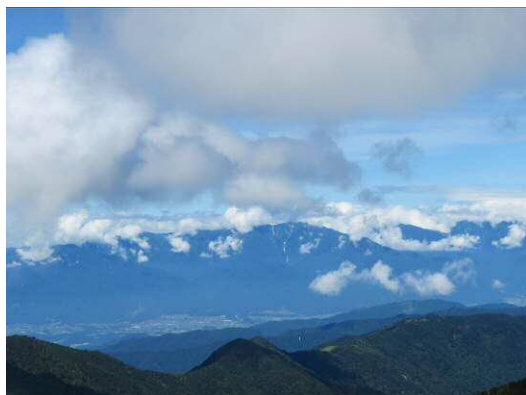


塩見岳東峰山頂 (3,052m)

塩見岳山頂に立つ頃には雨は止んだがすっぽりとガスに覆われている為、深田久弥が絶賛した塩見山頂からの大展望は得られなかった。ガックリだ。しかし幸運なことに下山を始めてから徐々にガスが切れ始めて、諦めかけていた北に白根三山の北岳や間ノ岳、南に悪沢岳や赤石岳などの素晴らしい眺望を得られて、これはここまで頑張ったご褒美かなと思った。



赤石岳



白根三山

山頂直下で6羽のライチョウの親子にも遭遇できてラッキーだった。さて塩見小屋に戻ってから三伏峠小屋まで戻り、更に鳥倉林道のゲートまで戻るにはあとコースタイムで約5時間。ここからが長丁場だった。

緊張を強いられた岩場登りを終えた後にだらだらとした登り返しが意外に多くて、脚に堪えた。鳥倉林道の登山口からゲートまでの30分の林道歩きも長かったが、爽やかな達成感を味わえてよかった。これでやっと百名山が75座に到達。残りは九州、四国、北海道など遠方が多くて大変だなあ。

コースタイム：

8/12 晴れ

鳥倉林道ゲート 11：20

登山口 12：00 三伏峠小屋 15：15

8/13 晴れのちガス、雨、のち、晴れ

三伏峠小屋 5：15 本谷山 5：50

塩見小屋 7：30～7：50

塩見岳山頂 9：00～9：40

塩見小屋 10：40～11：10

三伏峠小屋 13：45～14：30

鳥倉林道ゲート 17：00

(谷 晃 記)